

保護者様もお読み下さい

◆情報公開◆

- 公開1 本部に関する情報…財務諸表(2校合算)
以下 パリ総合美容専門学校柏校のみ
- 公開2 教育課程編成委員会Ⅰの開催記録
- 公開3 学校関係者評価委員会Ⅰの開催
- 公開4 基礎・基本教育の成果を試す「美容師国家試験」の結果
(平成30年度・新卒)
- 公開5 業務独占資格「美容師」の求人情報の詳細
- 公開6 自己評価表

◆本校の特長◆

基礎・基本	就 職	学費支払支援
技術と学科の基礎・基本の修得度をテストするのが、美容師国家試験であります。本校及び姉妹校の千葉校は、千葉県内でトップクラスの成績をおさめています。	本校の総合美容科は、美容師養成課程であります。美容師は美容関係唯一の「業務独占の国家資格」であります。美容界の美容師不足を反映してサロンから寄せられる求人数は卒業生の数十倍にもなります。毎年就職希望者全員が就職しています。	本校独自の学費長期分割納付制度は、最長5年間です。保護者様の経済的事情が変われば契約の変更もできるユニークな制度があります。

学校法人 パリ美容国際学園
パリ総合美容専門学校柏校

公開 1

本部に関する情報公開

財務の公開

本部・ パリ総合美容専門学校千葉校 パリ総合美容専門学校柏校 合算

独立監査人の監査について

令和元年 6 月 20 日

学校法人パリ美容国際学園
パリ総合美容専門学校千葉校
パリ総合美容専門学校柏校

独立監査人 松本香公認会計士

私立学校振興助成法第 14 条第 3 項の規定に基づく監査報告を行うため、平成 28 年 3 月 15 日付け千葉県告示第 186 号に基づき、学校法人パリ美容国際学園の平成 30 年度(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)の計算書類、すなわち、資金収支計算書(人件費支出内訳表を含む。)、事業活動収支計算書、貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)、収益事業に係る貸借対照表及び損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記について、上記監査人によって監査が行われ、適正であると認められた。

学校法人パリ美容国際学園

事業活動収支計算書

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

(単位 円)

教育活動収支		科目	決算	教育活動外収支		科目	決算	
収入の部		学生生徒等納付金	438,120,903	収入の部		受取利息・配当金	911,190	
		手数料	2,390,000				その他教育活動外収入	-
		寄付金	-				教育活動外収入の計	911,190
		経常費等補助金	27,661,022	支出の部		借入金等利息	7,720,057	
		付随事業収入	4,704,245				その他教育活動外支出	577,510
		雑収入	6,938,258				教育活動外支出の計	8,297,567
		教育活動収入合計	479,814,428			教育活動外収支差額	△7,386,377	
	支出の部		人件費	215,571,703			経常収支差額	10,268,670
			教育研究経費	156,226,344	特別収入の部		資産売却差額	-
			管理経費	88,265,078				その他特別収入
		徴収不能引当金繰入額	2,096,256				施設設備補助金	-
		教育活動支出の部合計	462,159,381				特別収入の計	-
		教育活動収支差額	17,655,047	特別支出の部		資産処分差額	108,288	
							その他特別支出	16,804,774
						特別支出の計	16,913,062	
					特別収支差額	△16,913,062		
					基本金組入前当年度収支差額	△6,644,392		
					基本金組入額合計	△28,224,000		
					当年度収支差額	△34,868,392		
					前年度繰越収支差額	△138,245,451		
					基本金取崩額	-		
					翌年度繰越収支差額	△173,113,843		
(参考)								
					事業活動収入 計	480,725,618		
					事業活動支出 計	487,370,010		

貸借対照表

平成31年3月31日

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	1,443,789,286	固定負債	289,967,500
有形固定資産	1,338,465,072	長期借入金	269,384,000
		その他固定負債	20,583,500
その他の固定資産	105,324,214		
流動資産	371,237,245	流動負債	239,967,407
現金預金	291,776,419	前受金	158,442,445
その他流動資産	79,460,826	その他流動負債	81,524,962
資産の部合計	1,815,026,531	負債の部合計	529,934,907
		純資産の部	
		科目	本年度末
		基本金	1,458,205,467
		繰越収支差額	
		翌年度繰越収支差額	△173,113,843
		純資産の部合計	1,285,091,624
		負債及び純資産の部合計	1,815,026,531

表中の△は学校法人会計独自のもので、
企業会計の損失を表わすものではありません。

公開 2

柏校教育課程編成委員会 I

1. 開催日時 平成31年4月24日 午後6時から6時50分
2. 場 所 パリ総合美容専門学校柏校1階
3. 委 員

委員	所属企業・団体名	役職名	任期	概要
横田 剛一	SPC グローバル中央統括本部（美容業界団体）	副会長	2年	美容室の経営指導・コンテストの開催
山場 研二	株式会社レッシュュブ	代表取締役	2年	首都圏に美容室20店舗経営・美容室の経営指導講師でも活躍
中田 裕之	パリ総合美容専門学校 柏校	校長	2年	
赤海 英輝	パリ総合美容専門学校 柏校	副校長	2年	柏校同窓会事務局長

4. 議案
 - 1 美容師+ α の技術の取り組みの件
 - 2 美容室で歓迎される技術について

【開催記録】

本委員会の議長を赤海委員とする

1. 美容師+ α の技術の取り組みの件

赤海：本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。本日の委員会でもたくさんのご意見を頂戴したく存じますので、どうぞよろしく願いいたします。まず、中田校長より本校の取り組みについて、ご報告をお願いいたします。

中田：本日はご多忙の中、ご参加いただきましてありがとうございます。本校では美容師免許取得の他にネイル、メイク、エステ、まつ毛エクステンション、ヘッドスパなど+ α の技術の取得に力を入れて取り組んでおります。

赤海：それでは議案1の美容師+ α の技術を持った学生が入社した場合、経営者としてはどう思われますか？

横田：経営者としての立場から考えると、資格をたくさん持って入社してくれることはとてもうれしいが、2年間かけて頑張っ取得した資格が、自分たちのお店で使える環境が整っているのかが重要になってくると思う。

山場：ヘアーの場合、アシスタントであってもシャンプーやカラー、パーマなどの手伝いができるが、ネイルやメイク、エステだと出来るか出来ないかがはっきりしてしまうので、貴校の考えにあるプロ並みになるように指導してくれるなら即戦力として活躍できる可能性があるが、ただやりましたという程度であれば、初めに

美容の技術を一通り習得してスタイリストになったその後に学びなおしても良いと思う。

横田：エステの場合、顔だけなのか、全身なのかにもよるが、美容室では本格的なところまで求めているのではないかと思う。必要であればエステの専門店に行くと思うし、美容室でメイクを落としてまでやりたいと考えているお客様は本当に少ないと思う。しかし、間口を広げるのは良いことです。シャンプーやヘッドスパなど現場に即した技術を持っていれば経営者としてもお給料を多く払うことも出来るし入社した後も良い意味での差別化になる。

中田：やはり取得をする以上は、ただやりましたというだけではなく、取得者全員が資格に恥じない技術の習得をしていかなければならないとあらためて感じました。

2. 美容室で歓迎される技術について

赤海：次に議案2に移ります。卒業生が就職した際、一番美容室で歓迎される技術はどれだとお考えでしょうか。

山場：美容室で歓迎されるのは、やはりヘッドスパやマッサージだと思う。シャンプーやカラーなど、ヘアーに関する技術は在学中に手を動かせるように指導してもらっていると入社した時に活躍する場が増えて本人にとっても良い事だと思う。

横田：編込みもアシスタントでもできる技術だし、即戦力になれると思う。お店側も個人の特性を生かしてあげたいと思っている。

山場：パソコンも使えるようになっていて良いですね。スマホは使えるけどパソコンは使えないという社員も多数います。今はお客様をはじめ、データのほとんどをパソコンで管理しているので、ある程度の知識を持って入社してくると非常に助かる。

横田：それと接客マナーをある程度教えてあげて欲しいと思います。入社して現場に立つとすぐにお客様と接することになりますし、特に電話対応は顔が見えない分、口調や声のトーンなどがとても重要になります。我々も貴校はじめ、美容学校様に電話をかけた時は電話対応してくれた方の印象がその学校の印象として残りますので、是非在学中に学んで欲しい分野です。

中田：美容技術の他にも、現場に即したスキルを在学中に身に付けられる環境作りが大切ですね。

赤海：それらの技術について、起業する場合のアドバイスがあればお願いいたします。

横田：今はカラー専門店やヘッドスパの専門店もあるので、自分がその技術に対して自信があれば、それに特化したサロン作りをすれば良いと思う。

山場：まつげエクステーションは美容師免許が必要な分野だから資格も生かせるし良いと思う。

次回の開催予定日を 令和元年9月頃とし、閉会した。

公開 3

学校関係者評価委員会

1. 開催日時 第1回 平成31年4月24日 午後7時から8時
2. 場 所 パリ総合美容専門学校柏校1階
3. 委 員

委員	所属企業・団体名	役職名	任期	概要
横田 剛一	SPC グローバル中央統括本部（美容業界団体）	副会長	2年	美容室の経営指導・コンテストの開催
山場 研二	株式会社レッシュブ	代表取締役	2年	首都圏に美容室20店舗経営・美容室の経営指導講師でも活躍
中田 裕之	パリ総合美容専門学校柏校	校長	2年	
赤海 英輝	パリ総合美容専門学校柏校	副校長	2年	柏校同窓会事務局長

4. 出席委員
第1回 横田剛一、山場研二、中田裕之、赤海英輝

5. 学校関係者評価結果

項目	評価・意見
1. 教育理念・目的・育成人材像	評価について、委員から意見が出なかった。
2. 学校運営	評価について、委員から意見が出なかった。
3. 教育活動	「⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか」については、関連分野のヘッドスパ団体との研修計画の策定等が行われ、30年度から受講希望者への課外授業が行われ、取り組みが一段階進んだことを評価された。「⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか」については、すでに関連団体の研修会には参加しているが、具体的な外部講師による校内での研修会の計画を検討する。
4. 学修成果	「④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」について、卒業生に特化した冊子を作成し、その活躍を高校生等に紹介していることは評価されるものである。
5. 学生支援	「③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか」について、特に「学費長期分割納付制度」について、このような制度は、リスクを回避して他校では見られないが、本校で実施している「長期分割納付制度」は高く評価されるものである。 「⑨高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか」について、高校・中学校からの職業体験を積極的に受け入れているので、その積極性を今後も維持できるものとした。

6. 教育環境	評価について、委員から意見が出なかった。
7. 学生の受入募集	評価について、委員から意見が出なかった。
8. 財務	「④財務情報公開の体制整備はできているか」については、現在HPで公開されており、適正な状態にあると評価できる。
9. 法令等の遵守	「①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」について、女性の多い職場であるので、出産休暇・育児休暇・職場でのセクシャルハラスメント等については、現場に責任者を決めて、法律を遵守していることが確認できる。 「③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」については、改善を行っていることが確認できる。 「④自己評価結果を公開しているか」については、HPで公開されており、適正であると評価できる。
10. 社会貢献・地域貢献	評価について、委員から意見が出なかった。

次回の学校関係者評価委員会は令和元年9月に開催予定とする。

公開4

美容師国家試験の結果

美容師試験は、基礎基本が修得されているかを試す重要な試験です。

2019年3月美容師試験の合格率（新卒）	本校	96.6%
	全国平均	86.2%

公開5

就職状況の公開

1. 2006～2017年度の求人実績

美容師	エステティシャン	ネイリスト	アイリスト	その他（ブライダル・販売）
4,218名 60%	1,432名 20%	395名 6%	541名 8%	445名 6%

※サロンは複数校に「求人票」を出しているので実数は不明ですが、ネット上では新卒美容師1人に対して実質5倍位の求人数とされています。

	千葉県	茨城県	東京都	その他
求人票地域割合	26%	9%	50%	15%
就職地域割合	29%	9%	36%	26%

※千葉県的美容学校だと「東京に就職する場合に不利」と思っている生徒さんがいますが、上記の通り求人の方が東京からです。全く不利はありません。

2. 就職者数

科	卒業者数	就職希望者数	就職者数
総合美容科・美容師	121	117	117
トータルエステ科	4	4	4
トータルネイル科	14	6	6

3. 就職ガイダンスの実施状況

学校主催

【2学年対象】平成30年5月29日

平成30年5月30日、2日間実施 サロン参加数60社

【1学年対象】平成31年2月19日 1日実施 サロン参加数16社

4. 平成26年4月に本校の創立10周年を記念して柏校同窓会を結成した。姉妹校の千葉校は認可以来卒業生が1万人に達している。千葉校・柏校の就職情報でも協力関係を持ちます。

自己評価表

【教育理念】

本学園の校是「若き日に基礎・基本を鍛えよ、若き日に知識・技術を鍛えよ、若き日に精神力を鍛えよ」を開校以来の基本的教育理念とする。
この基本の上に即戦力となるための応用技術・知識を修得し加えて心身を鍛え美容界に貢献できる人材の育成を目的とする

【教育方針】

1. 美容師養成課程における授業がまさに教育理念の「基礎・基本」である。この基礎・基本を試すのが美容師国家試験であり、本校の合格率はその成果を表している。
2. 応用技術・知識の修得で本校独自のものとして誇れるのは、都心の有名美容室のトップスタイリストたちが最新の美容技術を教えるゼミナール（職業実践教育）である。

公開6

H30年度 パリ総合美容専門学校柏校 自己評価表

1. 教育理念・目的・育成人材像

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
⑤ 各学科の教育目標・育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

● 現状

- ・②については、平成22年から坂巻ゼミを行っており、学生全員のアンケートでも高い評価を得ている。
- ・③については、企業の中核をなす美容師養成のため大学と3年次編入の提携契約を交わした。
- ・即、美容技術が行える基礎と応用技術・知識、ニーズ(心)をつかむセンスを持った人材とトータルビューティーに精通できる知識・技術を持った人材の輩出に努めている。

● 課題と今後の改善策

- ・④について、パリ美ニュースの配布を行うことで保護者等に対して周知等を目指す。

2. 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

● 現状

- ・①、②、③については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- ・⑤について、法人全体の重要事項は、理事会・評議員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、理事会・評議員会を開催し意思決定がなされている。
- ・④については就業規則並びに諸規定によって規定されている。

● 課題と今後の改善策

- ・⑦については、一部HP等で公開している。

3. 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（連携による実習）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
⑬ 資質向上のための取組が行われているか	3
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

● 現状

- ・④について、平成22年度から開始の「坂巻ゼミ」では、一流美容師による「実践美容技術」と「坂巻哲也ism」で最新の技術を学ぶプログラムを実施している。
- ・⑤について、関連分野のヘッドスパ団体と研修計画を策定し、研修の実施、受講希望者に対し課外授業として取り入れた。
- ・⑧について、美容所経営者を招き、学生に対し講話を開催している。他に各種コンテストに参加し、一般的評価を受けている。
- ・⑨については明確に定められている。

● 課題と今後の改善策

- ・教職員の能力開発のための研修計画を検討することとする。

4. 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

● 現状

- ・①については、平成30年度の求人数約5,200人（求人先のサロンは複数校に求人票を送っているため、実数は分からない。）、毎年就職希望者全員就職が決定している。
- ・②については、総合美容科117名が美容師国家試験を受験し、113名が合格・美容師資格

を取得した。美容師資格以外でも「ネイル」「メイク」「まつ毛エクステンション」「エステ」など、各種検定試験の取得を奨励している。

- ④については、OG・OB BOOKを作成し、オープンキャンパスやガイダンス・資料請求者に配布するなどし、卒業生の活躍を紹介している。
- 課題と今後の改善策
- ⑤については平成26年4月に同窓会を結成し、各学年より1名の幹事を配置し名簿の作成や卒業生の動向の把握を図っている。

5. 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	2
⑦ 保護者と適切に連携しているか	3
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

- 現状
 - ①、②について、クラス担任制を実施しており、進路・就職相談のみならず、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
 - 多数の美容室が参加し学生とディスカッションできる就職ガイダンスを毎年校内で実施している。
 - ③については、本校独自の「学費長期分割納付制度」や遠距離からの入学者に対して「家賃補助制度」を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、学費納付の相談を受け付けている。
 - ⑤については、屋上をテラスとして整備し、学生に開放することにした他、ミニ売店の設置とワンコインカレーの提供を行っている。
 - ⑨高校・中学校の職業体験を積極的に受け入れている。
- 課題と今後の改善策
 - ⑥については、美容室でアルバイトをしている学生は少なくないので、その学生の職業体験談を活用することを検討している。

6. 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
③ 防災に対する体制は整備されているか	3

- 現状
 - ③については、毎年防災計画に基づき、避難訓練を実施している。
- 課題と今後の改善策
 - 災害等の停電時に地下水を汲み上げる自家発電装置を整備する。

- ・②のインターンシップについては、美容室でアルバイトをする場合に、学校とオーナーと連携して、職業体験に位置づけできないか、今後の課題とする。

7. 学生の受入募集

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか	4

● 現状

- ・①、②については、パンフレット・募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、3月から10月まではオープンキャンパスを開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、県内及び隣接県に学生募集活動も実施している。
- ・③については、理事会・評議員会において、千葉県以外の美容学校の学費の平均額を上回らない額で、決定している。

● 課題と今後の改善策

8. 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

● 現状

- ・監事の監査並びに独立監査人による法定監査が行われている。

● 課題と今後の改善策

- ・財務の情報公開については、毎年監査が終了したら速やかに公開する。

9. 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
④ 自己評価結果を公開しているか	4

● 現状

- ・美容師法及び関連法令、専修学校設置基準に基づいて適正に運営している。

● 課題と今後の改善策

- ・③については、一部改善の遅れているものもある。

<以下は任意>

10. 社会貢献・地域貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
------	----

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 現状

・平成30年度から千葉県離職者等再就職訓練の受託を受け、訓練生の受入れを行うこととした。受入人数5名

② 課題と今後の改善策

1 1. 国際交流（必要に応じて）※H26から自己評価では評価は行っていません。

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	

① 現状

② 課題と今後の改善策